

倶知安町緑の基本計画(原案) < 概要版 >

策定の目的

緑の基本計画は、市町村が都市緑地法に基づき定める、緑豊かなまちづくりを進めるための施策などを示した基本計画です。倶知安町では、緑を守り育み、豊かな緑に囲まれた市街地を形成するための方策として、平成 20（2008）年に「倶知安町緑の基本計画」を策定しましたが、社会情勢の変化などを受け、町民ニーズを把握した上で、今後も豊かな倶知安の自然を守り育むとともに都市の潤いのある公園・緑地の有効な配置、緑づくり活動を推進するため、新たに「倶知安町緑の基本計画」を緑に関する総合的な計画として策定いたします。

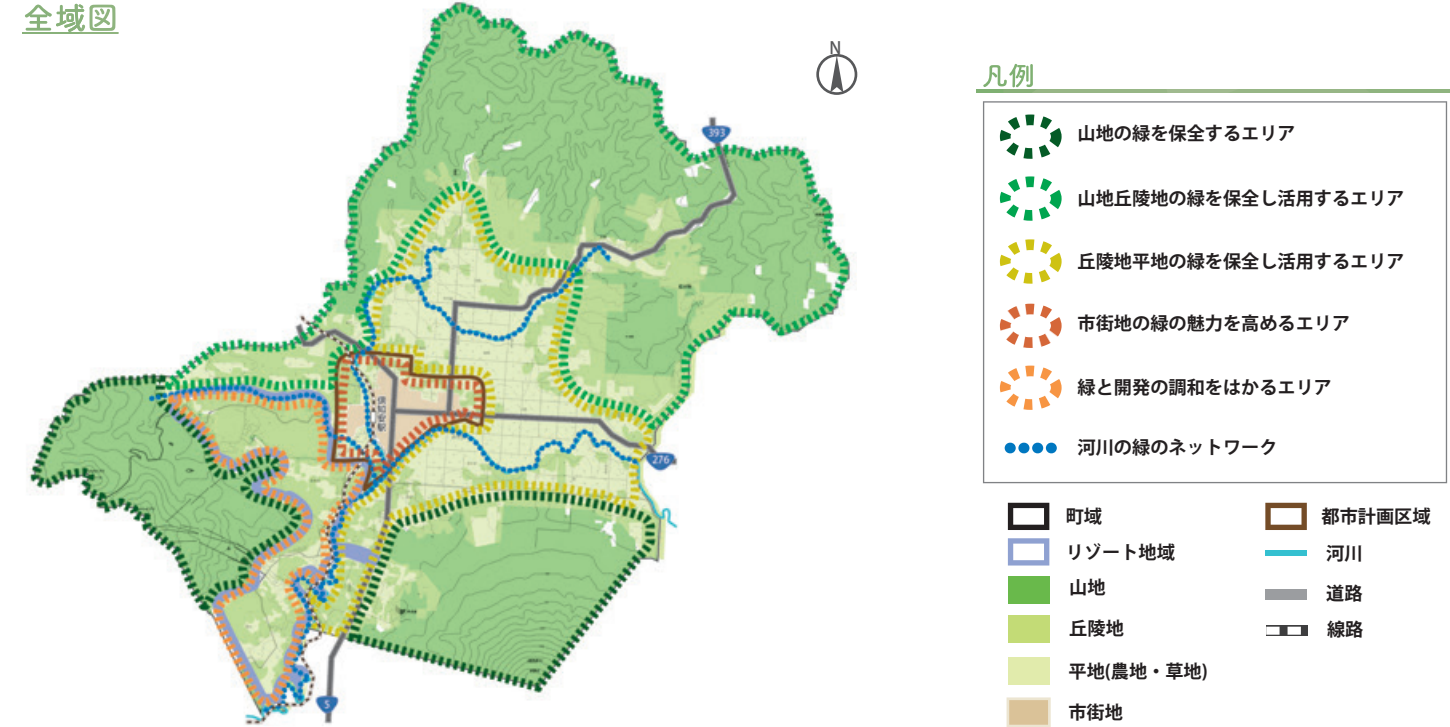
計画期間

令和4（2022）年度から令和23（2041）年度までの20年間 ※必要に応じて見直しを行う

対象区域と将来像

倶知安都市計画区域（約1,140ha）を基本として計画対象区域に設定しますが、本町の緑豊かな環境に資する取り組みなどを幅広く推進する観点から、対象区域外においても、必要に応じて本計画の対象とします。

全域図



市街地拡大図



基本理念・基本方針・目標・施策・系統別緑の配置緑の配置方針

基本理念

みんなで育む みどり豊かに 健やかなまち

基本方針

町民の身近な利用につながる公園・緑地づくり

倶知安町を象徴する豊かな農地と森林、河川の保全と活用の促進

町民の積極的な緑づくり活動の推進

目標

○公園利用率 向上

項目	現況	目標
利用率	37.9%	50.0%

※「よく利用する」「ときどき利用する」の合計
※現況は「R2 緑に関する町民アンケート」より

○公園利用の満足度 向上

項目	現況	目標
満足度	41.8%	50.0%

※「満足」「多少満足」の合計
※現況は「R2 緑に関する町民アンケート」より

○緑の豊かさ（自然環境）

項目	現況	目標
良いと感じている人の割合	90.9%	90%

※「良い」「どちらかといえば良い」の合計
※現況は「H29 第6次倶知安町総合計画策定のためのまちづくり町民アンケート」より

○水のきれいさ（川・湖）

項目	現況	目標
良いと感じている人の割合	85.9%	85%

※「良い」「どちらかといえば良い」の合計
※現況は「H29 第6次倶知安町総合計画策定のためのまちづくり町民アンケート」より

○身近な花植え活動の参加率 向上

項目	現況	目標
参加率	12.2%	20.0%

※参加している数
※現況は「R2 緑に関する町民アンケート」より

○新設公共施設の緑化率 10~20%以上達成

項目	現況	目標
新設公共施設の緑化率	教育文化施設 25.5% その他の公共施設 16.5%	20.0% 10.0%

※現在の公共施設の緑化率平均

施策

- 旭ヶ丘公園の利活用の促進と再編
- 長寿命化を意識した公園の整備・配置
- 地域特性に応じた活用の推進
- 安全・安心に利用できる公園の維持管理
- 街路樹の適切な配置

- 農地の保全と活用
- 森林の保全と活用

- 倶知安町の魅力を引き出す水辺の特性を生かした空間づくり

- 町民の緑づくりへの意欲の醸成
- 緑づくりの担い手育成
- 緑づくり活動の機会や場の創出
- 連携した緑づくり活動の推進
- 自発的な緑づくりの促進
- 自宅や店舗など民有地の緑化への支援
- 公共施設の緑化の推進

系統別緑の配置方針

- 環境保全系統
・良好な自然環境の保全と共生
・都市の骨格や拠点となる緑地の整備
- レクリエーション系統
・自然とのふれあいの場の保全と活用
・都市におけるレクリエーション拠点の充実
・身近なレクリエーション施設の充実

- 防災系統
・防災機能を有する公園緑地の充実と整備
- 景観形成系統
・優れた自然景観地の保全
・都市景観の創出に資する緑地の保全と整備

- 環境保全系統
・良好な自然環境の保全と共生
- 防災系統
・災害防止に資する緑地の保全
- 景観形成系統
・優れた自然景観地の保全

- 環境保全系統
・良好な自然環境の保全と共生

計画の推進に向けて

推進体制

町民や事業者、活動団体、行政等、さまざまな主体がそれぞれの立場でそれぞれの役割を果たしながら、協力・連携して取り組みます。

町民

家庭での緑化、緑づくり活動への参加 など

事業者

敷地内の緑化、緑づくり活動による地域社会への貢献 など

協力・連携

公園などでの花壇づくりや清掃、緑づくりの知識習得 など

公共施設などの緑化、自然の保全、緑化行政の推進 など

活動団体

行政

計画の進行管理

継続的な業務改善を図る「PDCA サイクル」というマネジメント手法の考え方にに基づき、計画の進行管理を進めます。

